

平成 30 年度第 2 回二宮町お互いさま推進協議会 議事録

- 1 開催日時 平成 30 年 8 月 23 日（木）午後 6 時 30 分～午後 8 時
- 2 開催場所 二宮町役場 第 1 会議室
- 3 出席者 お互いさま推進協議会委員： 12 名  
事務局：高齢介護課長、地域包括ケアシステム推進班員 3 名
- 4 協議事項
  - (1) 活動報告等について（資料 1, 2）
    - ① 認知症総合支援事業について
    - ② 生活支援サービスファイルの追加情報  
及び生活支援コーディネーター便りについて（S C）
  - (2) 地域支え合いセミナーの報告と  
地域の協議体立ち上げ支援について（資料 3, 4, 5）
  - (3) その他

5 議事録

1. 開会挨拶

2. 挨拶

3. 議題

事務局

本日は傍聴の方が 1 名いらしています。本会議は公開となっておりますのでお入りいただきます。

会長 それでは議題に入りたいと思います。

事務局より報告をお願いします。

事務局 ～議題（1）①認知症総合支援事業について資料に沿って報告～  
（記載省略）

会長 何かご意見ご質問等ありますか？

委員 認知症サポーター養成講座は一回の受講時間はどのくらいですか？

委員 30 分から 90 分くらいです。相手方のご都合に合わせた時間でやっています。

委員 これは駅員やスーパーの店員、タクシー会社の方などに向けての講座ですか？

委員 そうです。二宮町社協のホームページに申込書ですとかチラシの掲載

をさせていただいているのと、積極的にいろいろなところこのよ  
うな講座を受講しませんかと投げかけるようなかたちで主体的な参  
加を呼び掛けています。

委員 ご高齢の方とふれあう機会の多い事業者などが気づいて連絡をしてく  
れるというのが一番いいと思うのでそういうところへ周知させてい  
って欲しいです。

会長 議題（１）②生活支援サービスファイルの追加情報及び生活支援コー  
ディネーター便りについて石川さんよりお願いします。

委員 ～資料に沿って報告～  
（記載省略）

会長 皆様ご意見ご質問等ありますか？  
「わがまち・にのみや」というのはどのように発信していくのです  
か？

委員 紙と社協のホームページなどで見られるようにしたいと考えておりま  
す。

会長 資料にあります生活支援サービスファイルというのは各通いの場にあ  
るので、皆さん機会があった時にぜひともご覧になって下さい。

委員 「わがまち・にのみや」は各地域にある自治体の回覧で回すことはで  
きないのでしょうか？せっかくいいものを作ってもホームページで  
はご覧になれない方もいると思います。多くの人にみていただくた  
めにも自治会の方に依頼して地区で回覧してもらおうと良いと思いま  
す。

委員 通いの場には置く予定ですか？

委員 はい。

委員 通いの場も一部の方しか行かないですよ。

委員 せっかくいいものを作っているのでもう少しその活用方法を考えて  
いただきたいです。

委員 そうですね。来年度は回覧もできるよう計画に入れることはできると  
思います。今、地区長連絡会を通しての回覧は年間計画を出さない  
といけないので、途中から出てきたものは役場でも回してもらえま  
せん。

委員 来年度そのようにしていただけるなら、モノクロでももう少し見やす  
く印刷しやすいように色合いを考えていただきたいです。

委員 通いの場にこない人にもぜひ見て知ってもらいたいですね。

委員 通いの場にきた人が来たことのない人のところへ持って行ってあげる  
とか、そんなことを皆さん話し合っただけだとありがたいで  
す。

会長 こうやっていいものを作ると要求もいろいろ出てきて時間がかかるこ  
ともあるかと思いますがよろしくお願いします。

委員 回覧について町全体でやることはすぐにはいきませんが、通いの場  
に置かせてもらって、それを地域ごとで回覧として回すというのは

自由にやっていただいて問題ありません。ただそれを地区長に配って回覧してもらうというのは今の段階ではできません。

会長  
委員

活動報告等について、委員の皆様から報告などありますか？  
一色地区の状況ですが、新体制になったこともあり、あまり進んでいません。それから一色地区の再生協議会が来年度に向けてどうするかという話をこれからしていきます。2年間やっていますが、地域というのはなかなかわからないもので、同じ一色小区の一色、百合が丘、緑が丘でも、自治体の構成、社協の構成などそれぞれ違います。何かをやるためには地域の中身をよく知らないと進めていけませんので、協議体のメンバーというのはあまり変わってはいけないなと感じています。役が変わって違う人が出てくると今までやってきたことが続かなくなってしまう。ですから協議体は、ある程度何年かはメンバーを固定してやらなければいけないと思っています。これから新しく協議体を作る地域ではぜひ参考にしてほしいと思います。

会長

また次の議題に、地域支え合いセミナーの報告と地域の協議体立ち上げ支援についてとありますのでそちらでさらに話を深めていきましょう。

委員

それから、お手元にあるケアパスの資料について少し説明させて下さい。

委員

～ケアパス、認知症ガイドブックについて説明～  
(記載省略)

委員

どのように配布していくのでしょうか？いいものは、できるだけ早く必要な人、必要になりそうな人に配布できるようにして欲しい。

会長  
委員

活動報告で、大空の依田さんの方からお願いします。  
先ほど生活支援コーディネーターの石川さんから報告のあった「わがまち・にのみや」にもありましたが、大空では「住み慣れた地域で自分らしい生活を続ける」ということをテーマとして活動をはじめました。介護保険事業も行っていますが、基本的に今ここで話しているような、地域型ではなく、血縁とも関係なく助け合う、そういうかたちでスタートしています。ということで、NPO活動と協議体の活動は手法は違いますが目的は同じかなと考えており、事業関係は別にして、何らかの面で地域のきっかけになればと、みんなで何をやりたいか意見を出し合い、手芸サロン、ひだまりサロンというようなかたちでやってきました。普段どちらかというところと公的な福祉の色合いで必要な方にサービスしますけども、どちらかというところと二宮という地域よりももう少し小さな地域というかたちでの関わりというのはなかなかできていなくて、その辺が今回どういうふうか今までの経験を活用できるかというのは悩んでいるところです。資料の中面左下に「みんなの食堂準備会」というのがありまして、これは大空が直接やっているわけではないのですが、大空のメンバーが

中心になってやっているものです。7月の最終月曜日から8月末の月曜まで毎週月曜日、コミユナルダイニングで大人も子どももみんな食事をしていながらわいわいやろうということで準備・料理作りから含めてやっています。来週月曜日は子供たちの夏休みの宿題を仕上げようということで、どういう宿題がくるのか大人の方が戦々恐々としております。そういうかたちでの活動というのは今までもやってきたし、これからも協議体等の中で、「お互いさま」というかたちで、できることがあったらなと思っています。これまでの話題で福祉施設のデイサービスの送迎車が昼間空いていますねというようなこともあり、こちらから地域に向けて「どうですか」ということにはなかなかいかないの、地域の中で一つでも必要であるということであれば協力できたらいいねという話はしています。お手伝いできることがあったらやっていきたいなと思っています。以上です。

会長 このみんなの食堂準備会というのは、いわゆる今6人に1人が貧困といわれている問題を意図しているのですか？

委員 それをやりたいというのが目的ではありますが、ただ夏休みなんかだとご家族でもどなたでも参加できるようにアバウトにやっております。コミユナルダイニングの使い方がなかなか難しく、料金をとって食事を提供するというのはできないので、その辺も含めて自分たちで作っていくという形でとりあえずやってみようということですよ。

会長 続いて、「地域支え合いセミナーの報告と地域の協議体立ち上げ支援について」説明をお願いします。(資料3, 4, 5)

委員 ~議題(2)②地域支え合いセミナーの報告と地域の協議体立ち上げ支援について資料に沿って報告~  
(記載省略)

会長 ここにいらっしゃる委員の方はほとんどの方が参加されたと思いますけれど、受けた講義の内容についてなにかありますか？

委員 セミナー、意見交換会とも参加させていただきました。一色小区のことで少し気にかかったことがありました。ゆめクラブの活動をなさっている方から、「繋がりを増やして大切にしていきたいが何かを始めると縄張り意識が強くなりづらい」という意見があったのですがこれはどういうことなのか意見をお聞きしたいのですがいかがでしょうか？

委員 社協とゆめクラブというのは少し構成が違います。その中でゆめクラブは活動がとても活発で大きくなりました。いろいろクラブ活動などを増やしていった時に社協の人がちょっと愚痴をこぼされたということがあったようです。地区社協とゆめクラブとでは会費を納めるときの会員の意識に差があるように思います。そのため、ゆめクラブは活動するとき非常にやりやすくサークルもどんどん増えていきました。またそれとは別に各サークルも集めた会費で活動しており、そこにゆめクラブからも少し活動資金を出すというようなやり方で、多くのク

ラブが活動しています。それに比べると社協の役員の人たちがやっているのは通いの場くらいしかないのです。そういったところで僻みというのがあったのかもしれませんが。通いの場に参加している人たちもゆめクラブの人たちが多く、そうすると社協の人がやっているのだけれど、来る人はゆめクラブの人ということでやりにくさがあったのではないのでしょうか。

地区によっては町内会が神社構成で分けられているかどうかということでも変わってきますから、協議体としてはそういった地区地域ごとの組織の違いなども知った上でやっていかないとなかなかお互いさまを進めていくことができないと思いますし、時間もかかると思います。

委員 二宮町は小さな町ですが、地域によっていろいろな特性がありますので区割りにについても考えていかなければならないと思います。今回小学校区で分けたけれども、あとに出てくる二宮小学校区もこれからどうしていったらいいか悩んでいるところです。

会長 時間がかかることもありますが、それを踏まえた上で今後のスケジュールについてどう進めていくのか資料5の説明をお願いします。

委員 資料5をご覧ください。今後のお互いさま推進協議会・地域の協議体の年間スケジュールになります。先日の7月のセミナーを受けまして、今後山西小区、二宮小区で地域の協議体を立ち上げるにあたりどう進めていったらいいのかということも含めたお話を伺いたいと思っております。一色小区に関しましては、先ほど委員さんからお話しがありましたとおり、今の再生協議会のメンバーでやっていったらいいのかというご意見もありますので、そういったところを踏まえた上でどう進めていったらよいかご意見をいただけたらと思っております。まず、一色小区の方からどういう風にしていったらよいかというご意見を伺いたいと思いますのでよろしく願いいたします。

委員 先ほど少しお話ししましたが、メンバー構成を変えたことで少しちぐはぐになってしまったところもありよくなかったかなと思っております。あとは定例会の中では、新しいメンバーになってからはまだ一回しかやっていないのですが進め方に悩んでおります。

会長 山西小学校区の協議体の立ち上げということについては、かなり進んでいるというお話を聞いていますがいかがでしょうか。

委員 7月のセミナーの意見交換会の中で皆さんといろいろ話し合いができましたので、また一度集まっていたいただいて立ち上げに向けてもっと詰めた話し合いができればと思っておりますが、その候補者の方や、どういう風に定例会を行うかなど皆さんのご意見をいただきたいと思っております。

委員 山西小区は結構積極的に話し合いが進んでいるのですよね。  
委員 そうですね。今のところ皆さん積極的にお話をいただいているので、山西小区に関しては出来れば年内中に立ち上げることが出来ればと考えているのですが、その進め方なども皆さんにご意見を伺いなが

ら先日出席していただいた方々と進めていければと思います。

委員  
委員  
委員  
委員

山西小区に含まれる地区はどこですか？

中里、梅沢、越地、茶屋、釜野、川匂になります。

地区の編成がとても広いですね。

地区の編成や小学校区の区割りについては、もう一度先日出席していただいた方にお集まりいただいてお話を伺えたらと思っています。二宮小区に関してはもともと山側、海側というふうに考えていたのですが、富士見が丘と駅周辺では出てくる問題というのも変わってくるでしょうし、そういうことも含めた地域の協議体の分け方もどういうところで分けたらいいのか、先日参加いただいた方々にもう一度お集まりいただきご意見をいただく機会を持ちたいと考えております。

委員

山西小区に梅沢を入れたのは神社の神輿の関係で、地域が連携しているので本当は二宮小区だけども、山西小区に入れたということですよ。普段から地区同士が密着してやっているところを切り離すというのなかなかできないですね。

委員

中里はある意味では地域としてまとまっていて、自治会、ゆめクラブ、社協、神輿会、育成会など何か行事があれば一緒に協力してやっています。行事によって主催は変わるけれども、作業については各団体の役員がみんな出席して一緒にやるというかたちで、それなりにまとまりもあり成り立っているのですが、この協議体に関していえば海側の地区と一緒に話合っていくと、そのメリットはどういうところなのかというような話が出てくるのかなと思います。先日の意見交換会の時に盆踊りを山西小で一緒にやったらどうかなど、何か楽しみながら一緒に出来るイベントみたいなものが一つあるといいのではという話ができました。それぞれの活動を良いところ持ち寄るといって情報交換というのは勿論あるのでしょうけれど、それを最初からこれをやりますとって各地区が足並みを揃えるのはなかなか難しいのかなと思っています。具体的な提案で呼びかけていくなど少し工夫をするといいのかなと思います。

委員

山西小区だと先ほどの4地区が中心になっていくと思います。中里という地区は確かにある意味自立していますよね。ですが将来的に地区だけの繋がりでもいいのかという話には絶対なってくると思うので、そういった時にちょっとでも地域で繋がりを持っていて協力するところがあるといいのではないのでしょうか。地区それぞれが同様にメリットを受けようと考えればそれは難しいことですが、繋がっていてよかったと思えることがどこかであれば協議体を作る意味があるのではないかと思います。おそらくこれからいろいろな課題が出てくるかと思うので、このことについては、町としても全体として考えていかなければならないことと思っています。このお互いさま推進協議会でもお互いに情報を分けながら、あるときには情報提供しながら進めていけたらと思っています。

委員

先ほどそれぞれの団体や地区で個性や文化が違うと言う話がありま

したけれども、やはりそれは大事にしていってあげないとうまくいかないのかなというのがありますね。

委員 そうですね、その個々を守りながらですよね。その中で繋がっていていいこともあるし、ここはそれぞれ別でやろうということがあっていいと思います。

委員 地区でできないこと、できなくなってきたことを協議体でカバーしていくというような発想でやっていけるとこの協議体の意味がでてくるのではないのでしょうか。

委員 先日の意見交換会では地区によっては参加者が少なかったところもありますので、もう少し参加者を募って話し合っていく必要もあると思います。それぞれの学区で進み方が違うということを皆さんにご理解いただいた上で進めていただきたいと思います。

会長 二宮小区の山側で三月に一度集まって話をしましたが、その時に来られた方の認識は、この二層の協議体の目的がよく分からないという意見が大勢でした。それをいかにして気持ちをひとつにしていくかというはとても難しいことだと思うのですが、今後勉強会などをやる予定はありますか？

委員 前回のセミナーを受けまして10月くらいを目途にもう一度皆さんで集まる機会を持ちまして、その時にこれからどう進めていくかなどご意見をお聞きしながら、勉強会が必要ということであればもう一度勉強会を開いていくなどして立ち上げに向けて少しずつ進めていくようにしていきたいと考えています。立ち上げの時期については地域の進み具合によって順次ということではないかと考えております。他の山西小区に関しましても、10月前半あたりにセミナーの意見交換会に参加してくださった方々に声をかけながらもう一度集まることができると思っております。その時には委員の皆様にもご協力いただきながら進めていきたいと思っております。

会長 先日のセミナーでも講師の先生が生活支援コーディネーターの仕事は大変というお話がでていましたが、だから一層二層三層と重層的な協議体の協力が必要ということだと思います。先日のセミナーの資料の絵をみますと一層コーディネーター、二層コーディネーター、三層コーディネーターと三人もいるのですが、二宮町の規模ではコーディネーターは一人ということで石川さんはお一人で大変ですよ

委員 本当に皆さんのご協力がなければいろいろ決められないところではありますが、皆さんに支えていただきながらやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員 またセミナーを開く予定はないのでしょうか。参加者を変えてまたやっていただきたいと思います。

委員 そういうのもこの会議の中で決めていっていいと思います。

委員 どういった方に、どうアプローチしていくかというのも、この会議の中で意見をいただきながら決めていけたらと思っております。

- 委員 今回の参加者は他でも何かしら協力してきている知った顔ぶれが多かったのもう一段階広がりが必要なのではないかと思えます。
- 会長 人材不足ということですかね。
- 委員 新たな人材を発掘しなければいけないと思えます。アンケートでも関心が持てないという人は少なく、積極的にかかわりたい、できる範囲で協力したいという方が多かったですから、そういう人をもっと増やしていかなければいけないと思えます。セミナーを聞いた人と話をするとそうでない人と話をするとではまったく違うと思えますし、話もしやすくなると思えます。
- 委員 時間帯についてですが、女性は前回の様な時間帯は食事の支度時間と重なり参加しにくいと思えますので、もう少し早い時間にできれば参加しやすいのではないかと思えます。
- 委員 私がこの生活支援体制整備事業の勉強をし始めた時にやはりこの事業は先を見据えた仲間作りをしましょうというところから始まっていると思うので、そういったところでいろんな世代の方の関わりが必要で、この事業は高齢者だけのことではなく、こどもからお年寄りまで二宮町の人みんなの幸せを作ることなので、そういった仲間作りというのは大切にしていかなければいけないのかなと思えます。そこがとてもキーワードになってくる大事なところだと思います。
- 委員 今の話を聞いていて、先日のセミナーに来て下さった方も高齢者がほとんどでしたが、これまで高齢者が高齢者のためにやるというだけの話のように思っていて、その中で初めて理想的な年齢の話ができてきたなと思えました。セミナーに来てもらうということだけでなく、もっと若い世代の参加するようなイベントや、小学校、中学校、高校などに出向いてくなど、アプローチの方法も少し工夫して動いていかなければいけないのかなと思えます。
- 会長 では議題（3）その他なにかあるでしょうか。
- 事務局 それではこれから石川さんが具体的に中心となって動いていくにあたり、本日の内容の整理・確認をいたします。一色小区に関しては一色小学校区のあり方の見直しも含めて検討していき、石川さんも一緒にかかわりながら整備をしていく。山西小区に関しては中里・梅沢など本来山西小学校区ではないことや、地区で文化が違うところもありながら、まず来ていただいた方にもう一度石川さんから問い合わせをもらい、どういうメンバーで、どういう頻度で、どこでやっていくのかも含めて皆さんにもご協力いただきながら相談を進めていく。二宮小学校区に関しては海側・山側というところは置いておき、仲間作りというところで住民の方に限らずお店の方や事業所の方も含めて石川さんがいろいろネットワークを作っていくので、皆さんにもご協力お願いしたいという整理内容で皆さんよろしいでしょうか。
- 事務局 それでは、次回は10月25日（木）にお互いさま推進協議会の開催



を予定しております。その間、各小学校区で足並みは違いますけれども進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(終了)